TTC 提案山行実施記録表

2011年3月10日　報告者:佐藤　清

山行名	積雪の大室山から加入道山　[1,588／1,422m　神奈川県・山梨県]
実施日	２０１１年３月５日（土）　日帰り　マイクロバス利用
天候／参加人員	天候:晴れ　レベル:★★　参加人員:　14　名（男9名/女5人）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	CL／計画:　SL:　会計:　救護:　写真:　氏　名　削　除
参加メンバー	A 班　☆ B 班　☆　氏　名　削　除
費用 **￥5,400 円**	（詳細）※ＥＴさんは、マイカーで用木沢出合まで来ましたので集金はしていません。 マイクルバスレンタル料 46,000 円（スタットレスタイヤ仕様）、燃料代 4,800 円（@120 円 x200km（待機 50ｋｍ含む）/5km）、ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ謝礼 18,000 円、高速料金 900 円（@450 円 x 往復）、カンパ金 500 円　**合計　70,200 円**　（一人当たり約 5,400 円）

歩行・
（ガイドブックの歩行時間は無雪時です。）

	歩行時間	休憩時間	行動時間
ガイドブック	6:50	—	—
計画	7:57	1:10	9:07
実行	7:12	1:41	8:53

行動時間比(実行／計画)	0.97
歩行時間比(実行／計画)	0.91
歩行時間比(実行／ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ)	1.05

実行コースタイム記録

東名高速　トイレ　体操　0:45　0:40　1:21

厚木市内各地===東名厚木バス停===道の駅山北===用木沢出合･･････790m付近･･････犬越路･･････1,355 付近

6:10　6:52～57　7:23～42　8:27～35　9:15～33　10:54～11:00

0:36　0:10　0:09　0:05　(昼食)　0:36　0:25　0:17　0:16

････････1,555 付近･･････西の肩････････大室山････････西の肩･･････破風口････････前大室･･････加入道山･･････白石峠

11:36～40　11:50　11:59～12:03　12:08～49　13:25　13:50　14:07～20　14:36

0:51　0:36　0:25　体操　1:20

･･････白石の滝･･････730m付近････････用木沢出合===東名厚木バス停===厚木市各地

15:27　16:03～10　16:35～40　18:00

コースの概要、特記事項、反省事項等

この時期の西丹沢は、まだまだ雪が残っており、今回の山行ではスタットレスタイヤを装着したIさん運転のマイクロバスで用木沢出合に向かった。最高の天候で用木沢出合の駐車スペースには、車がほぼ満杯に止まっていた。ここでIさんとは下山までお別れだ。用木沢出合から 1,200m付近までは全く雪がなく、南面の雪はもうすっかり消え、日陰に若干雪が残る程度だ。尾根にはもう少し残っていて欲しいと思いつつ、正面に見える大室山へ向けて歩く。登山道は沢を渡ったり、明るい河原に出たりしながら進む。途中、首輪をつけた中型の犬がついてきて、790m付近で休憩しているときには、皆さんのところに回りおねだりをしていた。犬は食べ物をくれそうな人が分かるのか私のところには来なかった。今回のルート一番の急登を登ると明るい落葉樹林になり、そこからジグザグに登っていき、両側から笹が迫ってくるともうすぐ犬越路もすぐだ。狭い笹道を登って、目の前が開けると避難小屋のある犬越路にでた。

ここから富士山は見えないが眺めはよく、横に見える檜洞丸の北面は雪がまだ随分残っているようだ。

ベンチには男女が休んでいたが、間もなく檜洞丸方面へ出発して行った。

犬越路の避難小屋は、平成22年の暮れから正月にかけて厚木から山中湖の平野まで歩いた際にMご夫妻と一泊したのを思い出す。小屋は南と東にガラス窓があり明るく、中央に丸太イスで囲まれたテーブルがあり、両側に棚床があり、8人くらいは楽に寝ることができる。

犬越路の先、雪と泥濘の急坂を登ると緩やかになり、ここからは左に富士山や遠くに南アルプスが見えるようになる。今日は真っ青な空の下、木立の向こうに大室山のどっしりした山容が見える。振り返ればやはり木の間越しに蛭ヶ岳や檜洞丸が見える。

登り切った所が西ノ肩で、加入道山から来た道とぶつかる。

大室山の山頂は右へもう少し行った所なので、西ノ肩にザックをおき空身で山頂へ行く。西ノ肩から山頂までは雪がたっぷりあって、雪の大好きなSHさんは足跡のついてない雪の上をルンルン気分で歩いていた。大室山山頂に着きましたが、樹林に囲まれ展望はなく、写真だけ撮ってUターンだ。西ノ肩のベンチや雪のないところで昼食タイムだ。太陽が隠れて、風もあって寒くて昼食を摂って、アイゼンを履いて、加入道山に向かい歩く。体感温度は0度以下に感じた。

最初は緩やかな下りで急な下りから平坦になると木道が現れる。下り切った破風口の先で急な登り返しの後は、また

緩やかになる。
　加入道山の山頂と間違えた前大室を過ぎ、少し下って登り返せば、避難小屋のある加入道山だ。加入道山も樹林に囲まれ、ひっそりとした山頂である。
　あとは下るだけ、15 分ほど下った所の白石峠にはベンチがあり、ここを左折して日陰になった急坂を下る。雪もけっこう残っていて、滑り易い涸沢沿いの道を下ります。下のほうは植林でちょっと荒れた感じの沢だ。雪が無くなった山腹道を若干登り返すと右に白石ノ滝がある。
　下の白石沢に出ると日も当たって明るくなり、何度か沢を渡って林道に出る。少し先で車道と合流し、白石キャンプ場など見ながら進み、ゲートの脇を抜ければ用木沢出合で、Iさんが待つマイクロバスが見えた。
　今回の山行では、アイゼンの脱着を3回もやり、アイゼンをつける練習にもなったかと思う。
（感想、反省）
1. 当たり前だが、アイゼンは、登りの時より下りの時に必要だ。
2. アイゼンを履いて、石の上に乗ると滑る。
3. Sさんがたわしを持参していた。今回の山行はぬかるみもあり、アイゼンを川で洗っている方もおり大変役に立った。翌日（3/6）、飯山の百均に行ったらプラスチックの柄付のズック洗いたわしが2個百円で売っていましたので思わず買ってしまった。
4. 白石峠からの下りにKSさんからCL少し早いと注意を受けた。（今回の山行では、早くならないように注意していましたが、またしてもやってしまいました。）